

# 第5回ハワイ大学研修訪問団

## レポート

2014年3月2日（日）～24日（月）

## 第5回ハワイ大学研修訪問団概要

### 1. 研修概要趣旨・目的

ハワイ大学マノア校（オアフ島）へ研修訪問団を派遣し、ハワイ大学の学生・教員との交流、英語研修プログラムの受講、ホームステイでの生活を通して、両大学間の国際交流を推進すると共に、国際感覚と理解を深め、さらに日米友好親善に貢献することを目的とする。

### 2. 訪問日程

2014年3月2日（日）～3月24日（月）

### 3. 活動内容

- (1) 英語研修 ・ハワイ大学マノア校が提供する英語研修プログラム
- (2) 課外活動 ・各学部・学科のニーズにあった施設及び授業見学
- (3) その他 ・本学から随行教職員2名（往路2名、1週間程度）が参加

### 4. 訪問スケジュール概略

- 3月 2日（日）関西国際空港より出国。  
同日ハワイ・ホノルル空港到着、各自ホームステイ先へ宿泊
- 3月 3日（月）予備日（現地交通等の把握、プログラム受講準備等）
- 3月 4日（火）～3月20日（木）
  - ・ハワイ大学マノア校での約3週間の英語研修（午前の3時間）
  - ・教育研究施設の見学
  - ・自由時間
- 3月21日（金）ハワイ大学から英語研修修了証書・成績評価書の受領
- 3月22日（土）帰国準備
- 3月23日（日）ホノルル空港より出国
- 3月24日（月）伊丹空港着（※成田経由）、解散

### 5. 参加人数

9名（経済学部2名、看護学部2名、工学部3名、理学部2名）

主催 兵庫県立大学国際教育交流センター  
企画 兵庫県立大学国際交流推進委員会ハワイ大学ワーキンググループ  
協力 ハワイ大学マノア校アウトリーチカレッジ

## 「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

### ～充実した3週間～

工学部1回生 男子学生

この語学研修の3週間は非常に有意義で充実したものとなった。この研修では、英語のスピーキング・リスニング力を向上させ、英語に自信が持てるようになるとともに、消極的な自分を変え新たな自分を発見するということ、そしてハワイの文化や習慣、日常生活に触れ他国の異文化について学ぶという目標をたて参加した。

大学ではスピーキングを中心とした授業で、UHに通う学生にインタビューをしたり、フラダンスの授業、ダウントウンに課外授業に行ったり、Interchangeで現地の学生と交流をするというユニークな授業ばかりで、楽しみながら英語を学ぶことが出来た。特にInterchangeの授業が印象に残っている。現地の学生の人は、日本を好きな人が多く、フレンドリーで気さくに話かけてくれたので、自分も何とか頑張って言いたいことを伝えようとジェスチャーを交えながら楽しく会話が出来た。日本とハワイの文化・習慣の違いや、趣味や大学のことなど様々な話をし、思っていた以上に英語が通じ合え、自分の英語に少し自信が持てるようになった。

私にとってホームステイも良い経験になった。私のホームステイ先は、スイス人の留学生2人と、日本人の留学生が5人いて毎日賑やかだった。スイスの人は、驚くほど話すことが好きで私たちに、スイスの習慣や文化・観光地のこと、趣味の話、サッカーについてたくさんのことを英語で話しをしてくれた。いつもスイスの留学生に意見を求められるので、必死になって会話をしたことも印象に残っている。このように住んでいる国は違うけれど英語を通じて、気持ちが分かり合え、意思疎通ができるという嬉しさ、素晴らしさを感じたとともに、改めて英語の大切さを知ることができ、これからもっと英語に力をいれて勉強したいと思えるようになった。また、笑顔の素晴らしさを感じた。笑顔であると自然に会話が楽しくなるし、心が温かくなり幸せな気分になる。笑顔というのは世界どこ行っても通じ合えるものだと改めて感じる事ができた。

また、ハワイの文化や習慣、日常生活に触れることによりハワイの良さ、日本の良さそれぞれを知ることが出来た。ハワイの人は、バスなど様々な所で私たちに優しく話しかけてくれ、皆フレンドリーで社交的な人が多く、人の温かさを肌で感じる事ができた。ハワイで人と接する中で私も含め日本人はもっと、自分の意見を積極的に発信することが大切であると感じた。また、日本とは違いバスの時間がアバウトであり、車内アナウンスが少なく降りるところが分かりにくいなど驚くことも多くあった。

自由時間では、ハワイの素晴らしい大自然や文化に触れることが出来た。9人全員で、ワイキキビーチ・カイルアビーチで遊んだり、ダイヤモンドヘッド・ココヘッドに登ったり、ハナウマ湾でシュノーケリングをしたり、マノアフォールに行ったりと日本では出来ない体験をすることができた。また、パンケーキやロコモコなどハワイアンフードも美味しくて、この3週間でハワイが大好きになった。

このハワイ研修はとても充実していてあっという間の3週間だった。この3週間で少し自分の英語に自信が持てたし、何事にも積極的に自分の意見を伝えられるようになり、新たな自分を発見できたと思う。これもホストマザー、スイスの留学生、UHの先生 Marissa、そして何といっても8人の仲間に出会えたからこそだと思う。この3週間の思い出は一生

の宝物になった。本当にありがとうございました！！将来の夢の一つとして、管制官になるという夢がある。まだまだ英語の勉強が必要であるので、このハワイ研修で学んだことを生かし、これからも英語の勉強を続けていきたいと思う。そしてこのような海外研修に積極的に参加していきたい。



## 「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

工学部1回生 男子学生

平成26年3月2日～24日の23日間、計9名でハワイ大学語学研修に参加した。

今回の研修で『英語力・コミュニケーション力・意識』の3つのことを感じた。

1つ目の『英語力』とは、自分の語彙力・リスニング力の低さである。最初は、ホストマザーや先生の英語を聞き取るのが難しかったが日が経つにつれて、だんだんと聞き取りやすくなってきた。それでも、すべてが聞き取れるわけではなく、なんとなくしか聞き取れなかった。筆談で対応することもしばしばあった。また、話したいことがあってもその単語が出てこなく会話が止まるという場面が多かった。会話を聞いていて、こういう単語があるのかと学んでいった。語彙力を向上させれば、もっと会話の幅が広がると感じた。

2つ目の『コミュニケーション力』とは、外国人のフレンドリーさである。ほとんどの人が明るく気さくで初対面なのに色々話したりしてくれた。教室でも「Do not shy」と書いてあるように、外国人の自分を全面的に出して社会的な点を見習うべきと感じた。

3つ目の『意識』とは、自分の心情の変化である。同じホームステイ先の日本人(24歳・男性)は自分の夢を熱く語り信念を持っていた。またスイス人(27歳・男性)は、ドイツ語・イタリア語・英語など合計7か国語話すことができる人だった。私の英語は、かろうじて会話ができるレベルである。もし就職して海外で働くことになれば、さらに専門的かつ流暢な英語が必要となってくる。英語を学ぶだけではなく、自分が専攻している工学分野の知識も習得しなければならないと感じた。

今回の留学で様々なことを体験した。最も記憶に残った体験は、迷子になったことである。学校最終日、いつもはバスで通っていたけれど、その日は徒歩で向かった。バスで5分程度の距離だが迷子になってしまった。近くにいた警官の人に道をたずね、なんとか遅刻せずに行くことができた。このとき、この3週間で私の英語力は成長したと感じた。また同時に、周りのクラスメート・先生方など様々な人に助けられて生活しているのだとも実感した。このような体験を通して、今までの自分の考え方は小さいもので井の中の蛙と感じた。自分の考えを少し変えるだけで、周りが大きく変わるということを学んだ。この貴重な体験を生かしてこれからの未来を切り開いていきたいと思う。

## 「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

工学部1回生 男子学生

僕にとってハワイは4回目でした。そしてこの4回目の訪問が一番楽しく、また人生で最高の3週間でもありました。この研修において、僕の初めの目標は英語の能力向上と英語でコミュニケーションをとることでした。ハワイに着くとまず審査があり、こわもてのおじさんでしたがすんなりと通してくれてまず安心しました。空港を出ると、ホストマザーの娘さんが迎えに来てくれていたのですが、ハワイに行く前にホストマザーの一人暮らしだと聞いていたので、少し驚いたのですが僕の名前のプレート持っていたのですぐわかりました。そして、レイをかけられ、人生で初めて、会ったばかりの人とハグをしました。そのあと、車に乗ってホノルルの町をドライブしながら、いろいろと話をしてくれて緊張をほぐしてくれました。初めの方の会話は単語の羅列だけで、質問されたことに対して How about you? と返すのが精いっぱいでした。その会話の中で勉強になったうちの一つが趣味の聞き方で What is your hobby? ではなく What do you do for fun? という聞き方です。これはプログラムの中でのUHの学生と交流するインターチェンジでも役に立ちました。ハワイ大学での授業の後は、自由に行動できるのでハワイのいたるところと一緒に参加したメンバーといきました。僕は人見知りで、それを克服するのもこのプログラムに参加した理由だったのですが、みんなほんとに優しくいろいろ話かけてくれたので、今ではこのメンバーで来れたのが奇跡かっていうぐらい本当にいいメンバーでした。この研修に参加して一番思ったのが、伝えたいことがある、相手のことを知りたいという気持ちをもつことって重要なんだということです。初めの週の土曜日、他のメンバーのホストファミリーのホームパーティーに招待してもらったのですが、そのパーティーで僕は全然しゃべることができませんでした。おそらく、そのとき僕がなんなく英語を使えることが出来ていたとしてもしゃべることができなかつたでしょう。なぜなら何を話せば気に障らないか、どうすれば恥をかかないように済むかそんなことばかり考えていたからです。インターチェンジのときは向き合って、話しても大丈夫という安心感があるんですが、パーティーでは自分から話しかけなければなりません。そのパーティーは結局あまりしゃべれずに終わったのですが、そのあと反省してやっぱり純粋に相手と仲良くなりたいという気持ちをもって、自分の思いを伝えるしかないんだなということに気づきました。英語云々よりもその気持ちが大切なんだと気づきました。このハワイでの研修で僕は想像以上のことを経験することができました。本当にこの研修に参加できたことを嬉しく思います。

## 「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

理学部2回生 女子学生

私は中学以来英語が好きで、大学の時間がある間に一回海外に英語を勉強しに行きたかったので、今回ハワイに行くことを決めました。海外に行くのは今回が初めてだったのでとてもドキドキしていました。ハワイは暑いと思っていたのですが、梅雨の時期でもあるので雨が割とよく降り、寒い時は寒いし、バスの中はいつも冷房で寒かったです。しんどかったのは、大学まで家が遠かったので毎朝5時50分に起きていたことです。生活に慣れるまで時間がかかりました。でも、周りに英語が飛び交うのはとても楽しかったです。初めは耳が慣れなくて聞き取るのが難しかったのですが、帰るまでに少しずつ耳が慣れました。日本に帰った後でも自然に英語が出てくるようになりました。午前中に大学で授業を受けました。英語の発音を習ったり、会話の練習をしたりハワイの方言を習ったり、大学内でインタビューして来たり、フラダンスやウクレレ、レイを習いました。また、チャイナタウンに行って、歴史的建造物の勉強を英語でしました。あと、インターチェンジの授業が毎週2回あって、1時間あるテーマ(トラベル、イベント、昔の話など)についてハワイ大学の生徒と2.3人ペアで英語で会話しました。1時間ずっと話すだけでも大分英語の練習になったし、仲良くなれたので楽しかったです。昼からはほとんど毎日、他の県大のメンバーでハワイ観光をしました。山に登ったり、海で泳いだり、買い物したりBBQをしました。毎日日差しが強くて、髪がひどく乾燥したり目が真っ赤になりました。サングラスは必須でした。あと、フレンドリーな人が多いのですが、詐欺も多いので気をつけないといけないと思いました。例えば、写真を撮ってくれる人でお金をとる人がいます。毎日明るいうちに家に帰りました。ホームステイのファミリーは大家族でしたが、とてもあったかくて居心地が良かったです。毎晩作ってくれるご飯が美味しかったし、何人か集まって英語の発音の練習をしました。毎日夜に英語の文を音読するだけでも全然違うと言われたので続けようと思います。パパや他の留学に来ている子が教えてくれてとても楽しかったです。ハワイの冬ではよく雨が降るので、虹をよく見ることができたのも良かったです。二重の虹や、大きな虹が綺麗に見れました。学校最後の日にはグラジュエーションパーティーをしました。授業後にみんなでお昼を食べて一人一人2分程度スピーチをして、写真を集めてスライドショーを行いました。担当の先生にとってもお世話になりました。この思い出は絶対忘れません！またハワイに行きたいです。行くことができるとても良かったです。ありがとうございました。

「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

～I' m a lucky man～

理学部2年生 男子学生

ハワイに出発する前に先生たちに皮肉っぽく言われた「ホームステイ先は運ですから。」という言葉に私は強く同感致します。出発前に私は唯一ペアがいない上にホノルル以外のホームステイ先であると知らされて前述の言葉を何人かの先生に言われましたが、本当にその通りでした。ホームステイ先は運であり、私は非常に「運が良かった」です。ホノルルといってもカイルアの私と大学に行くまでにかかる時間が同じぐらいのところは2つあったため、自分だけ遠いななんて思うことも決してありませんでした。その上、最寄りのバス停まで徒歩10分ぐらいかかるところを毎朝バス停まで車で連れて行ってくれました。これだけで十分でしたが、私のホストファミリーはそれ以上の”kind”な人たちでした。初めて家に着いた日に特にルールみたいな事を言われずただmake yourselfとだけ言われました。また、You are new my son!とも言われました。私は良すぎる待遇にびっくりして前日に到着していたM大学の学生にルール等について聞いたところ「ない」と笑って言われました。洗濯もしたい時にしてもよかったですし、当てられた部屋にシャワーがついていて時間や回数の制限もなく、飲み物や食べ物は自由に冷蔵庫等からとってよくて、毎食ご飯を出してくれました。故に私は3週間ホームステイ先で何一つ不自由なことなく過ごすことができました。また、毎週木曜日はShackという近所のスポーツバーみたいなところで夕食を食べてビールを飲むのが習慣らしく毎週連れて行ってもらいました。そこでホストファミリーの友達とも出会い、そこで楽しい時間を毎週過ごせました。ホストファミリーの友達のおかげで3週目にはハワイで最も有名なレゲエバンドのThe Greenのギタリストと会うことができ、一緒に写真を撮ることができました。この他にも1週目の週末にはホストファミリー宅でホームパーティがあり、たくさんの人と繋がることができました。知り合った人の1人が次の日にJeepでノースショアなどに連れて行ってくれました。あるビーチでウミガメに会うこともでき、そのビーチで喋っていた夫婦が有名なスノーボーダーのショーン・ホワイトの親だと話しているうちにわかり、このことがハワイに来て一番びっくりしたことでした。他にももう2回ホームパーティに参加したり、Host fatherの6人乗りのレガッタレースを見に行ったりしてたくさんの人と出会う機会があり40人ぐらいの人と知り合うことができました。その中には2回以上会えて話すことができた人もたくさんいていい友達になれました。そしてその人たちと楽しい時間を過ごすことができました。今回のプログラムの参加動機、目的を全うするのに学校よりも最適なホームステイ先でした。

これは全て私のホストファミリーのおかげであり、私をこのすばらしいホストファミリーに当ててくださったMonaさんのおかげでもあります。ホームステイの家を出る時と空港で別れる時に私が号泣してしまうぐらい素晴らしいところでした。本当に私は「運が良かった」みたいです。





## 「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

看護学部2年生 女子学生

このハワイ大学研修の3週間、個人の旅行では経験できないことをいくつも経験することができました。あれほど英語に囲まれた生活を送るのは初めてのことでした。最初は自分の口から英語を発することに恥ずかしさとためらいがあり、一緒にいる友達に頼りっぱなしで人に道を尋ねることもできませんでした。そして、そんな自分が情けなくて、どうにかしないといけないと感じていました。しかし日が経って慣れてくると、英語を話すことに恥ずかしさが徐々になくなっていきました。ホストファミリーと会話するときや教室で“English only”だったことや、週2回ハワイ大学の学生と対話するインターチェンジという授業があったり、英語を使わなければならない環境に置かれたことが、恥ずかしさとためらいを消してくれたのだと思います。自分から現地の人に話しかけることができるようになってから気持ちが軽くなりました。ハワイの人は優しく、私たちが困っているのを見つけると「どうしたの?」と声をかけてくれる人もいました。すれ違う時に目が合うと微笑んでAlohaと言ってくれることが嬉しく、日本では考えられないことだけど素敵だなと思いました。また、現地の人と話しているとハワイの人は自分のホームタウンを愛していて誇りに思っていることが伝わってきました。3週間ハワイで過ごしてハワイのことが大好きになったのと同時に日本の良さも身をもって感じることができました。ハワイアンフード、ハワイアン語、フラダンス、ウクレレなどハワイの文化に触れることができました。フラダンスとウクレレを指導してくださった先生は陽気で明るい方だったので、とても楽しかったです。ハワイでの1日は時間が経つのが驚くほど早く、あっというまの3週間でした。日々の授業に加えて、ハワイ大学の看護学部の見学もさせて頂きました。演習室の設備の違いと、学生のプレゼンテーションのレベルの違いに圧倒されました。プレゼンテーションの内容を全て理解することは難しくできませんでした。授業以上に楽しかったのは、平日午後からの自由時間と休日です。ワイキキ、マノアフォール、ダイヤモンドヘッド、ココヘッド、ハナウマベイ、カイルア、その他にも9人で様々な場所に足を運びました。そのたびにバスに悩まされたことも今では笑い話になりました。たった3週間で初対面の人同士がどれだけの仲になれるのか不安でしたが、私が考えていた以上に仲が深まり、どれも全て大切な思い出になりました。この3週間があっというまに過ぎていったのは、一緒に過ごした皆のおかげでもあると思っています。この研修に参加して、英語でコミュニケーションを取ることができたときの嬉しさを実感することができました。また、ヒアリングとスピーキングの力を向上させていきたいと思えるようにもなりました。この研修だけで終わらずに、これからも英語を使い続けていきたいと思っています。

## 「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

看護学部2年生 女子学生

今回の研修の中で、私はハワイ大学の看護学部のプレゼンテーションの発表と施設の見学を行うことができた。プレゼンテーションの題材は、About domestic poverty や Programmable Lifeforms & Nanotechnology といったもので、一見看護学とは関連のあまりないような題材をもとに様々な視点から個人が意見を述べ、最終的に看護へ結びつけるといった流れであった。同じ看護を志す人として、このような広い視野で看護について考えを深めていることに非常に驚いた。ただ発表するだけではなく、発表後の教授による評価を受け、さらに意見交換をしてよりよいものに改善しようとする姿勢が素晴らしいと感じた。学内の施設には、まるで病院であるかのように様々なシチュエーションに応じた部屋や医療機器が設置されていた。それらは、大学と病院からの支援によって成り立っていると聞き、看護学を学ぶには最適な環境であると感じた。3週間ハワイでの生活を経て、最も印象的なのはハワイの人々の親切さであった。まだハワイに来て間もない頃、人になかなか聞く勇気が持てずただ道端で地図を広げているだけの私に、多くの人が親切に声をかけてくれた。また、道を尋ねた時もすべての人々が親切に教えてくれた。バスの中でもそういった優しさを見た。例えば、車いすの人が乗車しようとする、運転手は運転席から降りてその人のサポートをしたり、お年寄りが乗ってくると必ず席を譲っていた。日本でも、そのような光景を見かけることはあったが、ここまで徹底して弱者に優しい人たちは初めて見た。道端ですれ違う人でさえ、微笑んで手を振ってくれたり、自然にあいさつをしたり、そんな毎日が当たり前でとても幸せに感じた。3週間、何もせずに過ごした日はなく、授業後や週末はとても充実した時間を過ごすことができた。ダイヤモンドヘッドやココヘッド、カイルアビーチやハナウマベイなど、みんなと共に時間を過ごすにつれて仲が深まった。特に苦労して登ったココヘッドから見える景色を共有できたことは、決して忘れられない思い出となった。また、3週間ホストファミリーと過ごし、日本とは違った家庭の文化にも触れることができた。基本的に By myself であり、それが当たり前で、よりよい選択であると考えられているようだった。毎日、夕食時には今日の出来事や明日の予定などを英語のみで話した。伝えたいことを上手く伝えることが出来ず、自分の英語力の低さを感じたが、日が経つにつれてリスニングにも慣れ、ジェスチャーを用いたり、自分なりに相手に伝える努力を無意識にするようになり、日本に帰国するころには冗談を交えて会話できるようになっていた。ハワイには色々なバックグラウンドを持った人が共に暮らしているため、生徒ごとに違いがあり、毎日そのことについて話す時間が私にはとても刺激的で楽しかった。

留学に行く前は、楽しみよりも不安の方が大きかった。しかし、言葉の壁を作っていたのは自分で、勝手に自分の中で英語を話すことをためらっていたから、不安ばかり感じていたのだと思った。自分をオープンにして、伝えたいという思いと恥ずかしさを克服すれば、必ず相手には伝わるし、そうすると毎日が楽しくなる。これは英語を話すことだけに言えることではなく、日本でも自分の意志を伝えたりする大切さをこの留学で学ぶことができたと思う。1年前は、まさか自分が外国に留学に行くなど考えてもみなかったと思う。今回、この留学に参加して本当に心の底から良かったと思う。ハワイで得た多くのことを吸収して、今後の自分の人生設計に役立てていきたいと思った。



「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

経済学部 2 回生 男子学生

最初に UH とその英語プログラムに感謝したい。私たちは 3 週間とても楽しく英語とハワイの文化を学ぶことができた。

もし来年度以降、初めて海外に行きたい人がいるならばこのプログラムを薦めたい。なぜなら私にとってこれが最初の海外渡航であり、充実したものだからだ。当初私は旅行を楽しむことができる程度の英語力が身に付けばよいと思っていたが、今では違ったバックグラウンドを持った人たちと会話する楽しさを知り、もっとコミュニケーションをとりたいという気持ちが芽生えた。そして何の抵抗感なく人に話しかけるようになった自分に驚いている。しかし、「あれっ、これ英語で何て言うのだろう？」と電子辞書を広げることが多く、自分の意見を正確に伝えることができるように継続的に英語力を磨いていこうとも思う。

UH のキャンパスでは至るところで学生が PC を広げ、熱心に勉強している姿が見受けられ、質問してみるとみな目的意識が強く、自分ももっともっと頑張らなければと痛感した。授業はシチュエーション別会話や発音の練習、ハワイの言葉（ピジン）や文化の学習、キャンパス施設見学、UH の学生に質問、ダウンタウンへの課外授業（歴史的施設の見学・ウクレレのレッスン）、フラダンス、インターチェンジャーとの会話などがあり毎日充実した内容だった。ハワイには移民が多いため、日本やフィリピンなどの言葉が溶け込んでおり、言語からも多様性が感じられ面白かった。またインターチェンジで交流した学生は私たちがドール・プランテーションやパール・ハーバーなどいろいろなところに連れていってくれ、インターナショナル・ナイトという大学のイベントに招待してくれた。ハワイ大学には世界各国から学生が集まっており、伝統的なダンスや歌などのパフォーマンスが披露されていた。各ブースにて自国について楽しそうに説明していた学生たちが印象的であった。

授業は午前で終了のため、午後からは愉快的仲間たちといろいろなところに出かけた。「今日はどこに行くか、何をするか」と計画を立てるのが楽しく、とにかくよく歩き、泳ぎ、食べた。滞在中、毎日英語で日記をつけていたが、スペースに書ききれないくらいに一日の中身が濃く、素晴らしい思い出でいっぱいである。

ハワイの人たちはみな陽気で親切だった。ショップの店員さんとのやり取りやホームパーティーでは笑いが絶えることはなく、とても楽しい時間を共有することができた。また、どのバスに乗ればよいのか、バーベキューでなかなか火がつかない、忘れ物をしてしまった。などなど多くの困った状況に直面しても、快く助けていただきアロハスピリットに感動である。

最後に私を受け入れてくれたホストマザーに感謝したい。家は UH に非常に近く、ロケーションも素晴らしく快適であった。料理はとてもおいしく、犬の散歩がてらに多くの話をしてくれた。また、発音や卒業スピーチの練習にも付き合ってくれた。ぜひまたハワイを訪れた際には成長した姿を見せたいと思う。



## 「第5回ハワイ大学研修訪問団に参加して」

経済学部1回生 女子学生

私がこのプログラムに参加しようと思った理由は、英語での会話能力の向上のためと三週間のホームステイで異文化を肌で感じたいと思ったためでした。

まずハワイ大学での授業では、Marissa先生はとても素敵な方でいつも明るく可愛らしい笑顔が印象的でした。彼女の話す英語はゆっくりで、訛りの少ない英語だったので私はとても聞きやすく話しやすかったです。授業で印象的なことは、Marissa先生がマウイ島出身ということもあり、ハワイアン語をたくさん学べたことでした。またハワイの文化を知るという意味ではフラの授業もとても印象的でした。フラの先生はとてもパワフルな方で、フラダンスもとても楽しかったです。さらに授業のなかで一度クラスワークがあり、私たちはダウンタウン及びチャイナタウンに行きました。チャイナタウンはとても歴史的な建造物が残る町でした。このように彼女の授業を通してハワイの風習やハワイのことを知れてよかったです。また interchangers のクラスも印象深かったです。日本に興味のある学生ばかりで私が話す拙い英語でも理解をしてくれたのでとても助かりました。それと同時にもっとしっかりと英語を話せるようになりたいと思いました。

次に午後はフリーだったので、クラスメイトたちと様々な場所へ出かけました。行動をともにすることで関係性も親密になり絆も深まったと思います。その中で私の心に強く残っていることは地元の人たちとの出会いです。ワイキキビーチで出会った人は日本に何回かきたことがある人で、彼は日本語で話し、私は英語で話すという会話はとても不思議な光景でしたがこの出来事は私にとって刺激的でした。なぜなら私の片言の英語でもこうやって会話になるのだという自信になったからです。これ以降私は街中でも積極的に英語を使っていこうと思いました。また素晴らしい出会いはこれだけではありませんでした。クラスメイトのホストファミリーの家で開催されたホームパーティに参加したことです。このとき英語は使い続けることが大事であると教えてもらいました。

そしてさらにハワイアンフードをたくさん食べることが出来たことも思い出に残っています。これらの多くはハワイ大学のカフェテリアで食べたのですが、私の一番のお気に入りにはスパムサイミンです。これは味付けが薄いめで、量の多いアメリカサイズよりだいぶ小さめでまるで日本の塩ラーメンのようでした。

また私のホストファミリーはとても優しい人でした。ホストファザーは週末にはサンセットをみにコオリナ地区に連れて行ってくれたり、帰る前日にはパンチボールやカイルアビーチなどにドライブに連れて行ってくれたりしました。そしてホストマザーが作ってくれる晩ご飯も美味しかったです。このようにホストファミリーとの思い出もたくさんあります。

三週間という短い期間でもどっぷりと英語に触れる機会を持たせてもらったことをとてもうれしく思います。またクラスメイトたちと仲良くなれたことでホームシックになることもなく楽しく過ごせました。今回の研修に携わってくださったすべての皆様に感謝します。本当にありがとうございました。

